

令和6年度 林業普及週間現地情報 (1/27～1/31)

森林管理課

第3回宮古林業研究会開催

1月30日(木)

令和7年1月30日に宮古森林組合会議室において、「第3回宮古林業研究会」を開催した。宮古林業研究会は宮古地区市村及び県林務担当者、林業関係者、木工者で構成されている。今回は宮古農林水産振興センターから森林環境譲与税の普及報告及び提案、クリーンウッド法の改正、宮古島市有林林産物売払規則について説明を、宮古木工芸から製材についての説明を行った。

森林環境譲与税に関しては会員からの使途提案もあがり、来年度の譲与税による事業実施に期待が寄せられた。宮古島市有林林産物売払規則については、規則の案はすでに作成されているものの、林産物払下单価の算出に素材の市場単価が必要であるが、宮古島内における市場単価の実績がないことから、市場単価の設定が課題となっていた。今回の林研で会員より、実践による市場単価の試算の提案があったことから、会員の相互協力により単価の設定を進めることとなった。

宮古木工芸による製材については、製材に係る費用や、製材後の材の天然乾燥に係る時間(年数)などの説明があり、製材に必要な経費や技術について深く学ぶことができた。

今後も会員間での情報・技術を共有し、島産材の利活用に向けて取り組んでいきたい。



▲県の説明の様子



▲宮古木工芸の説明の様子

(報告者：宮古農林水産振興センター 仲宗根、山城、玉城)